

高等小學書方手本

第一學年用上甲種

K140.72
2.11
1上a

K140.72

2.11

1上a



高等小學書方手本

第一學年用上甲種

文部省

豐稔平原瑞穗國寶。

祚之隆天壤無窮。

秋の日は山の端近し暮れぬ間に
母に見えなん歩め我が駒。

埋火のあたりのどかにはらからの
まよるせし夜ぞ戀しかりける。

朋友仇敵利害談

五

高甲上

笑歡樂富貴榮華

六

高甲上

故郷の墓はしきは祖先墳墓の地にして我が幼時
嬉戯せし家なればなり。祖先幾代此家に生活し
永く此家に眠れるを思へば無心の山河も自ら

情あり。我が嬉戯せし幼時の樂しき記憶をおもひ
起せば木石知友の感なくんばあらず。況や父母
妻子兄弟姉妹親族故舊の我を待つあるに於てや。

御申越の儀承知致仕早速先才へ伺合の上

九

高甲正

當方より何分のは挨拶申上ぐぐ仕不一

十

高甲正

智と徳とは兩つながら併行せざるべからず。才學ありとも心下劣にして行賤しければ人の尊敬を

受くること能はず。いかでか世を指導するを得んや。學を修むるものは亦必ず其の徳を磨くべし。

島津。毛利。長曾。我。

部。加藤。藤堂。京極。

矛。盾。槍。薙。刀。甲。冑。

十五

高甲上

銃。劍。空。中。飛。行。機。

十六

高甲上

對馬津輕宗谷舞

鶴敦賀浦潮斯德

英吉利獨逸佛蘭

西露西亞伊太利。

露おかぬ方もありけり夕立の空
よりひろき武蔵野の原。我が
いはは松原つまき海近く富士の

高根を軒端にぞ見る。急がずは
ぬれがらましを旅人のあしと
より霽る野踏の村雨。

半紙半帖。扇子一對。屏風二雙。掛物
三幅。木杯一組。金子壹封。證書貳

通株券參枚。手拭一筋。足袋二足。
吸物椀二十人前。臺所道具一式。

資本流動。固定。生。

產。營利。規模。擴張。

野卑。温雅。寡言。多。

二十七

高甲上

辯。沈默。應答。抑揚。

二十八

高甲上

巧言令色鮮し仁。君子は言に訥に
して行に敏ならんことを欲す。己の

欲せざる所人に施す勿れ。河海は細
流を擇ばす故に能く其の大を成す。

病。菌。傳。染。隔。離。法。

療。消。毒。預。防。種。痘。

秦築長城比鐵牢。
蕃戎不敢過臨洮。

三十三

高甲上

烏知萬里連雲勢。
不及堯階三尺高。

三十四

高甲上

唯々到着致仕凡そ一週伺位滞在
の害には産仕いづれ其の中泰堂

例の件委細は話申上度と存
居仕取致はずは報まで事

廉潔克己。忍耐。謹。

三十七

高甲上

讓。從。順。嚴。格。懲。戒。

三十八

高甲上

W180.77-2.11
-12a

大大大大
正正正正
三三三三
年年年年
十十十十
二二二二
月月月月



十廿五
日四二
日日日
翻翻翻
刻刻刻
發發發
行行行

大正三年十二月十六日
文部省檢査濟

發賣所

東京市日本橋區新地
右衛門町十六番地
株式會社

國定教科書共同販賣所

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
株式會社

東京書籍株式會社工場

發行所
印刷所
代表者

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社
原亮一郎

著者
行作
者錄

日高部
秩父省

高等小學書
本第一學年用上甲種

定價金參錢

